原著論文・総説・症例報告・研究報告・実践報告・その他（←いずれかを残す：MS 明朝 12pt）

公立八鹿病院誌テンプレート（タイトル：MS 明朝 16p）

サブタイトル：任意：MS 明朝 14p

八鹿　太郎[1)]，八鹿　花子[1)]，養父　次郎（MS 明朝 12p）[2)]

1）公立八鹿病院　部署
2）公立八鹿病院　部署（MS 明朝 10.5p）

抄録： 和文抄録を標題の後に記載すること．400 文字以内にまとめ，9 ポイント明朝体を用いること．……
……
……
……

キーワード： 和文で5個以内．9ポイント明朝体を用いること．該当する和文用語が無い場合は，英文でも可（Times New Roman 9point)．

はじめに

公立八鹿病院誌投稿規程より，原稿作成に際して主な原稿体裁を MS Word テンプレートとしてまとめた．このテンプレートはフォント種別，大きさ，段組など規定に従った設定で書かれているので，該当個所を上書きまたは「形式を選択して貼り付け」のメニューで「テキスト」を選択して貼り付ければ，規定通りの体裁にできる．論文言語（和文）・論文種類（原著論文・総説・症例報告/研究報告・実践報告・その他)。

1. タイトルその他(1ページ目)に関して

A4 用紙に印刷されることを想定し，「ページ設定」メニューで A4 用紙サイズと上下左右部各 1.5cm の余白を設定する．1ページ目上部に和文標題，著者氏名，所属，和文抄録（400 字以内），和文キーワード（5個以内）をバランスよく書くこと．

下部テキストボックスの受領日・受理日は日付空欄でよい。連絡先（所属・氏名・住所・メールアドレス）を記載すること．

2. 本文に関して

本文は，和文標題，和文抄録，をキーワードのあとに，ページを変えずに 2 段組で書くこと．2 ページ目以降は，本文の続きを 2 段組でつづけて書くこと．

本文は 9 ポイント明朝体フォントを標準とし，字間および行間は適宜調整すること．

本文には半角カナ文字は使用しないこと．

3. 記号・単位の書き方

略号は，国際的慣例に従い，単位および単位記号は，国際単位系によるものとする．

4. 見出しの書き方

章見出しは 12 ポイントとし，2 行分を取って左詰で書く．また章番号は付さないこと．節見出しは 10.5 ポイントとし，アラビア数字を用いて番号を付すこと．字体は章・節ともにゴシック体とする．章見出し標題の構成は，生医学雑誌の典型的な構成に従って，

- はじめに
- 方法
- 結果
- 考察
- 文献

の順に記すこととする．ただし，生医学以外の分野の論文などで，掲載内容がこの構成にそぐわない場合は，必ずしもこの構成に従わなくても構わない．

方法

1. 図表の書き方

（1）本文中では，図 1，表 1 のように日本語で書く．写真は，図として扱う．

（2）番号・説明などは，図・写真についてはその下に，表についてはその上に書く．

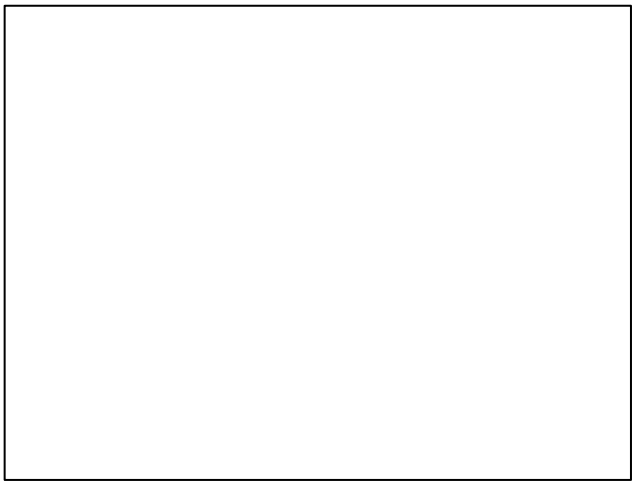
（3）本文と，図・表の間は 1 行以上の空白を空けて，見やすくする．図中・表中の説明及び題目は図 1 の例のようにすべて日本語で書く．

（4）図および表が 1 列（片側）に収まらない場合，図

2 の例のように 2 列（両側）にまたがって書くことができる.

(5) 図および表の横に空白ができても，その空白部には本文を記入してはならない.

(6) 図，写真および表の文字や数字は本文と同じ大きさとする.



2. 数式の書き方

式番号は,式と同じ行に右寄せして()の中に書く. また，本文で式を引用するときは，式（1）のように書く.

式を書くときは，行頭に適宜空白を空ける. また，必要行数分を必ず使うようにして書く. 3 行必要とする式を 2 行につめて書いたり，2 行に分かれる式を 1 行に収めたりしない. なお，本文と式，式相互間は 1 行以上の空白を空けて，見やすくする.

また，原則として数式エディタのポイント数は本文に準じるものとするが，添え字等が小さく読みにくくなるときは適宜拡大する.

$$\gamma(t) = ji / N \qquad (1)$$

$$\overline{C}(t) = \frac{1}{N}\sum_{i=1}^{N} C_i(t) \qquad (2)$$

結果

1. 提出枚数

図，表，写真を含め，枚数制限はありません.

2. 提出について

提出時のファイルフォーマットは，Microsoft 社 Word 形式とします.

3. 原稿の返却

提出していただいた原稿は返却致しません. なお，提出いただいた電子ファイルは当分の間，図書委員会で保管いたします.

考察

・著作権について

本誌に掲載される論文等の著作権（複製，翻訳，翻案，電子的形体での利用等のすべてを含む包括的な著作権）は，原則として病院に帰属するものとします. 著者自身が編集委員会以外に投稿する場合，編集委員会に許可を求めるのが原則ですが，実質的には省略します. 但し，営利目的の出版物に投稿する場合のみ，編集委員会に申し出て頂きます. 第三者から，論文等の複製，翻訳，翻案，電子的形体での利用等に関する許諾の要請があり，編集委員会において必要と認めた場合は，編集委員会において要請に応ずることができるものとします. 但し，営利目的の出版物に対する許諾については著者に必ず連絡をとって下さい.

以上により，本誌に掲載される論文等の著作権は，病院に帰属することとなりますので,御了承願います.

文献

[1] (雑誌の場合) 著者名. 標題. 雑誌名, 巻(号): 始め－終りのページ, 年.

[2] (図書の場合) 著者名. 書名. 版次 (編者名), 発行地, 発行所, 引用ページ, 発行年.

[3] (ウェブサイト，ウェブページ)著者名. ウェブページの題名. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先（参照日付）

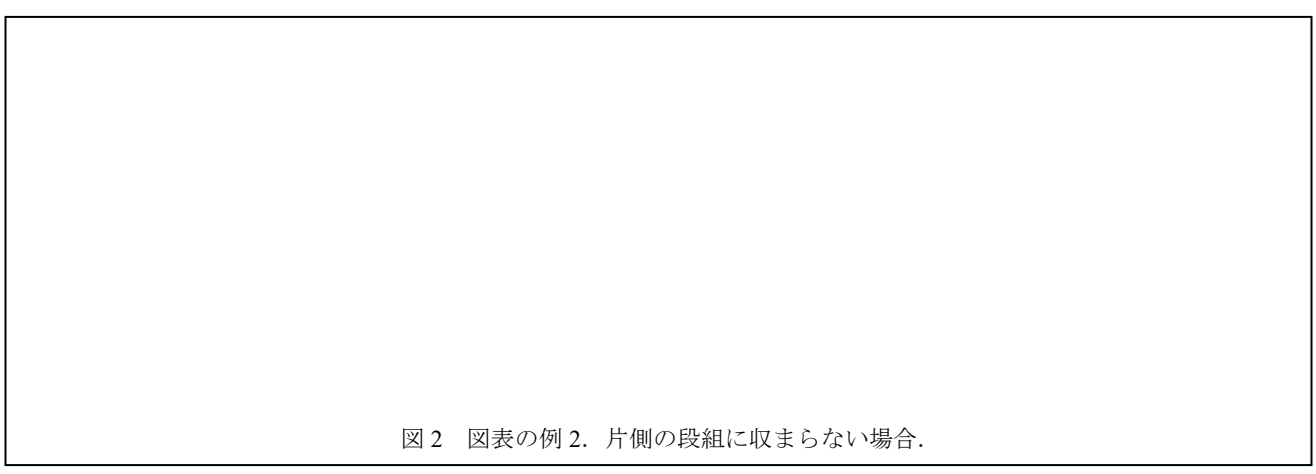


図 2　図表の例 2. 片側の段組に収まらない場合.